

充実期研修

- 弘前大学教職大学院, 青森県教育委員会が主催。
- 校長に推薦された30代後半から40代の公立及び私立学校教員(校種を問わない)対象。
- 4月～11月実施。集合研修2日+オンラインで多忙なミドルリーダー世代が無理なく受講。
- 教職大学院教員のコンサルテーションを受けながら、勤務校の改善に繋がるアクション・プランを立案・実施。最新の教育事情も学ぶ。

前年度参加者の声

・学校を変えていくためには、新しい取り組みが必要だと研修前は考えていた。研修を受ける中で、新しい取り組みよりも既存の取り組みをより良く活用できるよう改善することの方が大切であると考えようになった。(もちろん新しい取り組みを考えることも大切。) また、改めての気づきとして、生徒をより良い方向へ導くためには、個人では限界があり、周囲や外部とのコミュニケーションやネットワークの構築が不可欠である。同年代の先生方と交流を持てたことがありがたい。

・様々な校種や、役職・立場の先生方の実践例を聞くことができ、各校における実情や葛藤を学ぶことができた。グループワークを通して、それぞれの先生方のテーマについて深く掘り下げることができ、色々な考え方・視点を獲得できた。これは、実際に現場で活躍している先生方だからこそ持ち合わせている視点であり、この研修に参加して本当によかったと感じる。また、これまで多くの立場を経験されてきた教授陣からの助言・講義を通して、中堅だけではなく、管理職としての視点・考察を知ることができた。

令和6年度 充実期研修講座

組織で解決する力を伸ばす
チーム学校を支えるスクールリーダーのために

日程及び内容

3月10日～4月12日 ※NITS中央研修と同時期		受講希望者の申込(申し込み方法は下記参照)
4月中旬		受講決定通知書とオンデマンドの案内を送付
4月中旬～5月上旬		オンデマンドによるガイダンスと講義 1時間30分 ●ガイダンス ●講義「令和の日本型学校教育とLearning Compass 2030」 研修動画視聴30分+ワーク 1時間30分程度 (いずれも勤務校で各自の都合に合わせて実施)
5月9日(木) 15:00～16:00		受講生・教職大学院教員顔合わせ(オンライン)
5月	後日提示する3つの日程から選択	協議(オンライン) ●勤務校の内外環境の分析ワークを踏まえた協議 ●アクション・プランのアイデアの共有
6月	後日提示する3つの日程から選択	協議(オンライン) ●人材が育つ学校づくりワークを踏まえた協議 ●アクション・プランのアイデアの共有
7月25日(木) 9:30～16:00 弘前大学		第1回集合研修(対面) ●講義「子どもや家庭の背景と外部連携のために」 ●アクション・プランの発表と協議 ●講義「組織とリーダーシップを考える」
7月末		オンデマンドによる講義 ●インクルーシブ教育システムにおけるマネジメント
自由参加 ※	8月 5回実施 各1時間30分	実践事例を踏まえたコンサルテーション(オンライン・4回) 事例提供: 昨年度受講生、教職大学院修了生等 ●「インクルーシブ教育システムにおけるマネジメント」 コンサルテーション(オンライン・1回)
8月下旬～11月中旬		各勤務校にてアクション・プランの実践(各自)
9月～10月 複数日程から1～2回選択		教職大学院教員によるコンサルテーション(訪問又はオンライン)
11月28日(木) 9:30～16:00 弘前大学		第2回集合研修(対面) ●アクション・プランの実施報告と協議 ●講義「学校組織の変容に向けて」 ●協議「ミドルリーダーとして組織を動かすときに重要なこと」 ●省察「研修をとおした自身の変化とこれからの5年」